

ずし楽習塾 だより

2010. 10

NO. 12

NPO法人ずし楽習塾推進の会
電話・Fax 046-871-7007

学びあい 教えあい ふれあい

生涯学習活動推進団体

市民講師企画講座（I型）がスタート

本年度も「広報ずし」4月号により市民講師を募集し、33人の方々が応募され、企画書の提出をはじめとし、その後の内部検討を経て32の講座数で7月の受講生募集を行う運びとなりました。（残念なことに募集期間中に講座の先生の体調不良から1講座がやむなく辞退することになった。）

昨年度の反省会に於ける各種の提案を参考にし、①「しおり」を見易く、より多くの市民に講座の内容を理解していただき一人でも多くの方が参加出来るよう心掛けてみました。

更に②として講座内容を目で見ていただくために市民交流センターの展示コーナーを活用し、講師の皆さんのご協力により作品や募集ポスターを展示することが出来ました。

その結果、多くの市民からの受講申込があり7月末現在受講者数は250人を超える盛況です。締め切り後開講条件をクリアした講座数は21講座となり夫々に開講準備にはいりました。

今年のもう一つの特徴として応募方法にメールでの申し込みを可能にしたことがあげられます（申込の15%）。従ってハガキによる応募が非常に少くなりました（申込の9%）。

前述した展示コーナーの活用が効果があったのか来場されての申込も多かったと思われます（41%）、その他はFAXで（35%）でした。

この楽習塾だよりが発行される頃にはかなりの講座がスタートしていると思います、早くスタートした講座風景の写真を紹介します。



（民謡のお稽古 - 唄・三味線 - ）



（楽しく歌って健康に！

～ 腹式呼吸を体験しよう ～ ）

（注）21講座が開講準備に入ったと書きましたが、その後「パーソナルカラーレッスン」と「子どもたちの書道教室」の2講座の講師から体調不良のため今年度の開講を辞退する旨の意思表示があり止む無く閉講することとしました。

開 講 講 座 一 覧 (22年度市民企画講座)

	講 座 名	講 師 名	講座開始日
1	逗子の歴史をタテ軸(年代順)に読み知る	雨宮 郁夫	8月16日
2	包んで楽しいラッピング	大久保 真美	11月30日
3	囲碁を楽しむ	浦川 龍巳	8月13日
4	ピラティス	バビー・ピッキー	11月13日
5	ENGLISH・SING AND LEARN	丸山 祥夫	9月30日
6	中国語 ヘンハウ	梁 屏	8月22日
7	ルースイーダットン	佐藤 よしみ	8月10日
8	—伝統工芸— 鎌倉彫	坂井 八重子	8月27日
9	楽しく歌って健康に	鳥海 洋子	8月20日
10	はじめてのコントラクトブリッジ	山村 紀久代	8月12日
11	—邦楽器— 尺八	石井 輝男	8月21日
12	プリザーブド・フラワー	佐藤 朋子	9月 3日
13	クラフト紙テープでカゴ作り	小澤 英代	8月24日
14	民謡のお稽古(唄・三味線)	勝野 千恵	8月15日
15	フラメンコ	樋口 晴美	8月12日
16	大正琴	宮脇 眞須美	8月16日
17	アロマセラピー	島 祐子	11月24日
18	イタリア語	デッサルド・ニコラス	8月16日
19	五行歌	前 しおん	8月20日

～華やかに～ I 型講座 PR 展示

色彩豊かな32講座の受講生募集ポスターが7/2～7/19まで交流センターに飾られました。

各々の講座の特色を生かした魅力あふれるポスターに加え、書道、プリザーブド・フラワー、きものリフォーム、絵付け食器、五行歌、陶芸、紙テープ手芸、郷土史などなど講座用の作品や資料も並べられ、アロマの香りも漂って雰囲気盛り上げ、I型講座の多彩さがアピールされました。

飾りつけが始まるとすぐに、見ていた数名の方が熱心に説明を求めてこられました。その後も問い合わせは次々と数多くあり、展示を見てその場で受講を申し込んだ方も多数にのぼっています。目で見ると効果の確かさに驚かされます。

この展示は、市民講師の方々からの「楽習塾の講座は質が高く、それをもっとPRしてほしい」との声に答えて実施の運びとなったもので、これからも多くの方々と手を携えながら、楽習塾の講座がより広く理解されるよう努めたいものです。



市民グループ企画講座（Ⅱ型）

1. 「環境問題・里山の手入れ」

10月に名古屋でCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)が開かれ、社会や産業に貢献する動植物の保護について話し合われます。日ごろの生活で実感が伴う温暖化に比べると地味なテーマですが、自然に恵まれた逗子市民だからこそ考えていただきたいテーマです。

「逗子名越緑地里山の会」の飯河（いり）さんは、講座のねらいを「海や山そして田越川といった、自然に恵まれた逗子の魅力を実感してもらい、市民が協力して手入れをしながら、子供の環境教育に生かしていくことの大切さを理解していただきたい」と説明しています。

11月20日（土）、11月28日（日）、12月5日（日）。最終回は「逗子名越緑地里山」現地での芋堀り体験もあります。親子での受講も歓迎です。



2. 「市民活動・まちづくり」

人生は単線ではなく、複線になりました。自分のため、家族のため、仕事のため、そして地域のため社会のために自分を活かす時代です。

市民活動のベテラン4人、「逗子ゼロ・ウェイストの会」の岡崎さん、「NPO法人 逗子文化の会」の及川さん、「パソコンサポートボランティア」の小暮さん、「東逗子団地ボランティアグループ（まごの手）」の肥後さんから地域デビューの頃を振り返りながら「まちづくり」の面白さなどを語っていただきます。その他、法政大学教授の山岸さんの「まちづくりに参加し、自分を輝かせよう！（仮題）」を聴き市民としてやりたい事を見つけていただきます。

平成23年1月13日（木）、20日（木）、27日（木）、2月3日（木）。

子育てを終わり仲間と住みよい逗子について話したい方、会社の仕事は卒業し逗子に戻ったが、地元での生活が快適になるような仕事をしてみたい方にお薦めの講座です。

市民企画講座（Ⅳ型）

この市民企画講座は、テーマは市民委員の方の提案、自由な発想に基づきチームで検討して決めております。今年度の市民企画講座は、前期講座が11月20日（土）及び、12月18日（土）に開講、後期講座を2月と3月に開講予定です。

☆ 11月20日（土）開講講座 ☆

～ 災害は突然やってくる ～

— 阪神・淡路大震災でリーダーシップはどう発揮されたのか —

平成7年1月17日、空前絶後の大地震が関西を襲い、多くの犠牲者を出しました。インフラが破壊され交通機関は完全に麻痺、一時は生命線の食糧・水の確保にも困難を極めました。人命が係っており、一刻もはやい救援活動、復旧活動が求められました。このとき、現地でこの切迫した厳しい状況の中で救護活動を指揮した元海上自衛隊呉地方総監の方がおられます。

単に行政の連絡を待つのではなく、正確な情報キャッチ、素早い連絡、的確な指示、綿密な協力体制づくりを実践するため、防災課、自衛隊、警察、消防署との連携がいかに大切かを説いています。

イザという時にリーダーは何を考え、何をすべきか 一方、我々にも災害発生の際の対応方法、心構えを説明、悲惨な状況を避ける示唆に富む話を聞く事ができるものと思います。

☆ 12月18日（土）開講講座 ☆

～ 米海軍横須賀基地・デッカー司令官の功績～

（軍港・横須賀の目覚ましい復興）

— 黒船の再来とも称される日本の民主化 —

第二次大戦が終わり、日本は軍国主義から現在に続く民主主義が急速に根付いていきました。それは食糧難に苦しみ、荒廃した状況の中で育っていきました。この時期、米海軍横須賀基地の第4代司令官として赴任された方がベントン・W・デッカーさんでした。回想録で「黒船の再来」との記述がありますが、昭和25年6月(在任期間4年)に帰国するまで米軍の軍需物資の放出、基地技術者五千人の雇用確保など物心両面にわたって、民主主義化と学校教育(栄光学園、清泉女学院)、病院建設(衣笠、聖ヨゼフ)に尽力されました。

『談話サロン』へのお誘い

前号でもお知らせの通り、「談話サロン」を始めました。

談論風発・全員参加型

任意・自由に登録したメンバーが交互に自由な話題を提供して自由に話し合うサロン型運営の会です。

目的／楽しみ

逗子に住む・葉山が好き・世代がほぼ同じ・しかし違った経験・職業・違った考え・特別の体験をした感想などを話し合うのは、それぞれの人生にある多面性・それに対処する心構えは、大きな示唆に富むものであり、これからの人生に、考えの広がり豊かさをくれます

- 広い地域の人と新しい出会いがある、仲間の共感が生まれる
- 家に引っ込まない。成熟のお付き合いが始まる
- 自分の殻から飛び出そう 又目覚めが始まる
- 仲間の卓話から知識を広めたり、本を読んだり、深堀り（勉強）したくなる

参加メンバー

- 15名位がよいのか（20名位が限度か）、人数が多くなれば、ジャンル別クラスに分けることも考えられる。現在まで最大22名の参加でした。
- メンバーの半数位は女性が理想
- メンバー登録の出入りは自由、女性のメンバーも数多くいます

市民企画講座（Ⅲ型）

今年度は10月28日（木）をスタートに8回シリーズで開講します。
テーマは『暮らしのエネルギーを考える』です。

方式・進行方法

- 毎月一回（第4水曜13:00～15:00）
市民交流センター会議室（時には外で）
- 毎回出席者は、自身の近況、最近気になる事・ニュースなど1分～2分程度で話をする。
（全員一回は、毎回発言する）
- 卓話40分の後、自由談義40分余。コーディネイターは次回卓話予定者が輪番制で行う

卓話

メンバーが交代で卓話を行う。日本の近代史の深堀りをベースにスタート（2010/4）したが、テーマは卓話者の自由選定（歴史・事時間題・ビジネス・趣味・信条なんでも良い）でそれを切り口に話が広がる

（以前の卓話事例）

- 第1回 二上菱 「明治維新西欧文明の伝達について」
- 第2回 福田欽一 「明治近代国家建設とお雇外国人」
- 第3回 小林登志子 「ソルゲ事件をみる」
- 第4回 坂元節夫 「昭和におもう」
- 第5回 雨宮郁夫 「逗子横須賀ものがたり」
- 第6回 田中秀和 「海外駐在・業務等で感じた日本人&日本人社会」
- 第7回 櫻田武 「エレベータから見る社会安全意識」

参加費

500円/回・人（資料・連絡費・飲料他）。
問合せ先 0467-23-7248（櫻田）

チラシ（講座内容・受講申し込み等）を市民交流センター・公民館などに配備しています。
あわせて、省エネ関連の展示を市民交流センター1階入口で実施しています。

NPO 法人ずし楽習塾推進の会

I, II型講座開設への企画・受講者募集・開講支援

Ⅲ型プロジェクトへの参加・講座実務 会報の発行・HP作成

IV, V型講座の企画・開設・運営 地域連携活動

連絡先：〒249-0006 逗子市逗子4-2-1 市民交流センター（内）

会員募集 随時会員を募集しています

2010年9月30日現在

正会員：23名 賛助会員：15名

正会員 年会費 1000円（一口以上任意）

賛助会員年会費 2000円（一口以上任意）